

食と健康を支える

‘環境と調和した近未来農業’の最前線

～オーガニックとサステナブルな農業生産の現場を知り、学び、広げる～

10月24日（金）開催いたしました！

対面およびオンライン（ZOOM）等のハイブリッド方式にて開催いたしました「にいがた夢農業・人づくり 共通講座公開シンポジウム」は今回で第12回目となりました。新潟大学その他、新潟県農業大学校など計74名の参加がありました。

今年度は「農業の魅力発信コンソーシアム」の（株）マイファームよりご紹介いただいた作物・園芸・畜産部門の先導的なロールモデル農業者3名から、地域と一体となって取り組んでいる環境と調和した農業のリアルな声を直接お聞きしました。その後のパネルディスカッションでは、会場参加者の皆さんと真剣に意見交換をし、食と健康を支える農業の可能性や未来について理解を深めました。

【主なプログラム】

はじめに：「農業の魅力発信コンソーシアム事業」について

農林水産省 経営局 就農・女性課 経営専門官 加藤 豊 氏

基調講演：農業界の可能性と歩き方

農業の魅力発信コンソーシアム

株式会社マイファーム 事業統括本部 戦略事業開発室 音羽 幸保 氏

講演1：なぜ私は農業を選んだのか

～ 若者が地域に関わる意味、おじさん奮闘記～

長野県伊那市 （作物部門）ロールモデル農業者 谷口 修 氏

講演2：環境保全型農業推進の取組

兵庫県三田市 （園芸部門）ロールモデル農業者 平林 秀将 氏

講演3：東京から淡路島へ「有畜複合農家」という選択肢

兵庫県洲本市 （畜産部門）ロールモデル農業者 三崎 咲 氏

パネルディスカッション 音羽幸保 氏、谷口修 氏、平林秀将 氏、三崎咲 氏

コーディネーター 伊藤亮司（新潟大学農学部）

農業の魅力発信コンソーシアム事業について
農林水産省 加藤 豊氏

農業の魅力発信支援事業
新潟大学シンポジウム資料

農学部C11

新規就農者の育成・確保について

令和7年10月23日

農林水産省経営局就農・女性課

基調講演 音羽 幸保氏

「農業界の可能性と歩き方」

株式会社マイファーム
2025/10/24

3

講演① 谷口 修氏



Lagopus
Sustainable Agriculture

2025年10月24日
@新潟大学

農学部C110

講演② 平林 秀将 氏

FC・にいがた夢農業・人づくり共通講座公開シンポジウム資料

環境保全型農業推進の取組み

ひらばやし農園
2025年10月24日

1

講演③ 三崎 咲氏

一東京から淡路島へー
「有畜複合農家」という選択肢

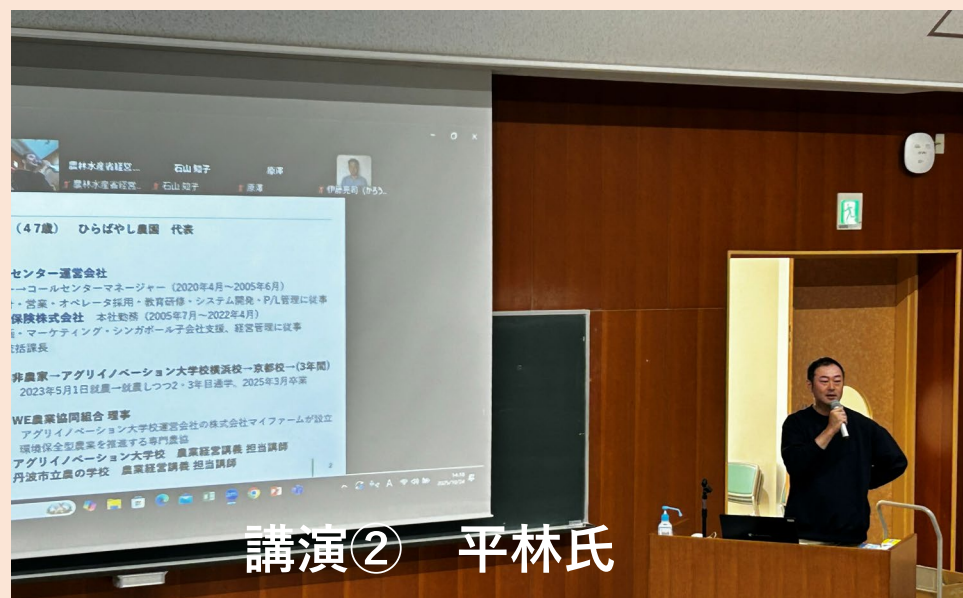




基調講演 音羽氏



講演① 谷口氏



講演② 平林氏



講演③ 三崎氏



農水省の加藤氏はZOOMでご参加頂きました。



【アンケートより感想 一部抜粋】

基調講演（音羽 幸保氏）

農業従事者を集める際に、さまざまな農業とのかかわり方があると聞き、画期的だと思った。農業について、学生だけではなく社会人も学べるようにすることで、農業への入り口が増え、人を引き込みやすい点は私も同意見であり、今後、農業についてもっと内容を知る機会を増やしていくべきだと思った。

講演②（平林 秀将氏）

社会人から農業従事者となるパターンがあるとは聞いていたが、実際に当事者がどんな形で農業従事者となったか、農業従事者になったあとはどんな形で農業にかかわっているのかまでは知らなかったため、今回の機会です話を聞いてよかったと思った。

広告を出したら2万人が毎日見るかも等、まさに着眼点だと思った。

講演①（谷口 修氏）

農業との関わり方を決める際にしっかりとしたビジョンをもち、どうしてそれをやりたいのか、そのために何が必要なのかなどを思い悩みながらもしっかりと考えてから、自分のやりたいことへ真っ直ぐ進んでいる点がためになると思った。

サントリーという大手飲料メーカーから就農するまでの心境の変化がわかりやすく。

講演③（三崎 咲氏）

ニッチな品目に絞った自分の経営方針＝プロダクトアウトとマーケットインがしっかりしたほか、淡路島の移住先のコミュニティーの作り方など農業に対するモチベーションが素晴らしかった。

家畜を飼う上で切り離せない糞尿処理。自分のところで全て利用・還元できるように畑をやるということ。

パネルディスカッション/全体の感想

農業の方向性を決める上で、師範を作るような形でプロや一流の方を参考にすることで、現実をみつつよりビジョンが固まるのは、農業に従事することに限らず農学にかかわるさまざまな取り組みをする際、そして他分野に取り組む際などに使えるいい考え方だと思ったから。

就農者にとって気軽に相談できるネットワークは「続ける」「繋げる（世代）」ために重要。

全く別分野から農業に参入する人の人生について知れてよかった。

お話ししてくださった皆様が、自分なりの農業を模索し、追求しているというお話が印象に残りました。

自分ごとになってしまうのですが、今日の発表を聞いて、新規就農者の方々は慣行農業にとらわれず、独自の農業を展開していく傾向があるのかなと感じました。

たくさんのご参加有難うございました。